

325 感染症対策の推進

32501 感染症危機管理体制の確保

(主担当:保健衛生室 健康増進課)

主な取組内容

1. 法に規定されている感染症の患者が発生した場合、患者や家族等の接触者に対して調査や検査を実施し、まん延を防止します。
2. エイズを含む性感染症のまん延防止を図るため、知識の普及、啓発を図るとともに、相談や検査を実施します。

1 感染症の予防事業

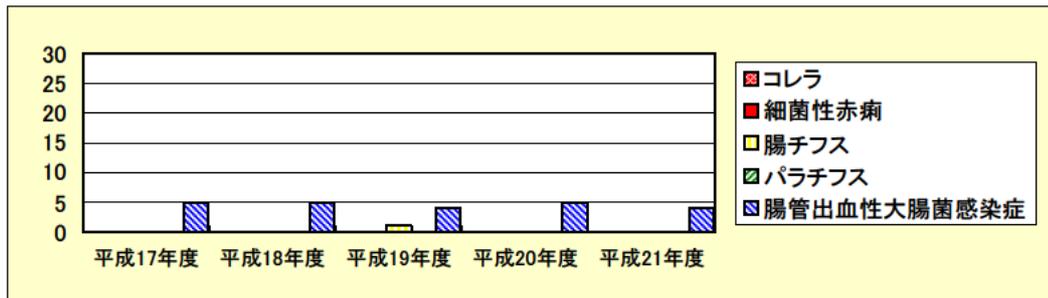
感染症発生時において、患者調査と家族、接触者検診の実施および感染拡大防止のための措置を講じた。

(1) 一類感染症発生状況 0 件

(2) 二類・三類感染症発生状況（結核を除く） 4 件

種別 年度	二類感染症			三類感染症				
	重症急性製呼吸器症候群候群	急性灰白髄炎	ジフテリア	コレラ	細菌性赤痢	腸チフス	パラチフス	腸管出血性大腸菌感染症
H17	—	—	—	—	—	—	—	5
H18	—	—	—	—	—	—	—	5
H19	—	—	—	—	—	1	—	4
H20	—	—	—	—	—	—	—	5
H21	—	—	—	—	—	—	—	4

三類感染症の発生状況推移



(3) 二類・三類感染症対策検査実施状況（結核を除く）

		医療機関からの依頼	家族及び接触者	菌陰性化検査	その他	計
実検体数		(1) 1	6	(1) 8	—	(2) 15
二類	重症急性製呼吸器症候群候群	—	—	—	—	—
	急性灰白髄炎	—	—	—	—	—
	ジフテリア	—	—	—	—	—
三類	コレラ	—	—	—	—	—
	細菌性赤痢	—	—	—	—	—
	腸チフス	—	—	—	—	—
	パラチフス	—	—	—	—	—
	腸管出血性大腸菌感染症	(1) 1	6	(1) 8	—	(2) 15

※ () 内は陽性者数を再掲 (内数)

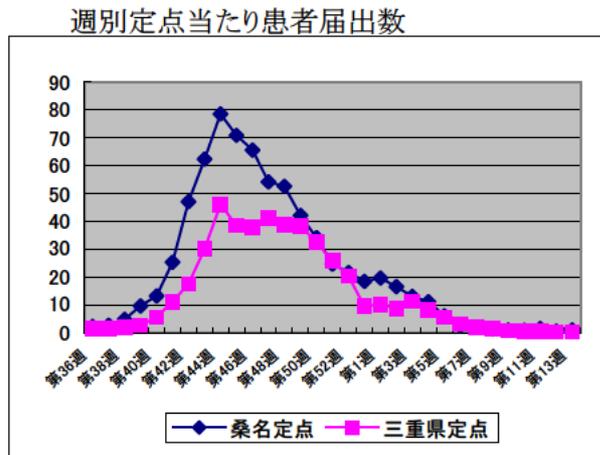
2 新型インフルエンザ対策

平成21年4月28日、WHOによって新型インフルエンザの発生が宣言され防疫体制が強化される中、5月16日神戸市で国内初の新型インフルエンザ患者が確認された。その後の感染拡大に伴い、当管内においても、6月末から7月初旬に渡航歴のある2例の新型インフルエンザ患者を確認、さらに7月中旬には集団感染事例を認める状況に至った。

(1)管内での発生状況

ア. 定点医療機関報告 ※平成21年 36週～平成22年13週

第36週	22	第47週	542	第5週	60
第37週	26	第48週	526	第6週	25
第38週	48	第49週	421	第7週	20
第39週	96	第50週	341	第8週	13
第40週	132	第51週	246	第9週	9
第41週	253	第52週	216	第10週	8
第42週	470	第53週	184	第11週	14
第43週	623	第1週	196	第12週	5
第44週	786	第2週	165	第13週	9
第45週	709	第3週	130		
第46週	656	第4週	111		



イ. 学校集団かぜ患者〔欠席者〕報告数

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
幼稚園	3 [3]	223 [184]	363 [322]	69 [50]	19 [9]	8 [8]	0 [0]	685 [576]
小学校	52 [43]	2592 [1653]	2479 [1806]	496 [394]	115 [86]	65 [51]	9 [8]	5808 [4041]
中学校	165 [96]	1955 [1191]	628 [473]	67 [58]	0 [0]	0 [0]	0 [0]	2815 [1818]
高等学校	117 [117]	96 [91]	171 [162]	11 [11]	0 [0]	0 [0]	0 [0]	395 [381]
その他	0 [0]	0 [0]	0 [0]	0 [0]	0 [0]	0 [0]	0 [0]	0 [0]
合計	337 [259]	4866 [3119]	3641 [2763]	643 [513]	134 [95]	73 [59]	9 [8]	9703 [6816]

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
桑名市	312 [239]	2929 [1783]	1611 [1193]	241 [170]	80 [59]	66 [52]	9 [8]	5248 [3504]
いなべ市	3 [3]	374 [321]	781 [552]	39 [28]	7 [7]	7 [7]	0 [0]	1211 [918]
木曾岬町	0 [0]	145 [71]	109 [67]	0 [0]	0 [0]	0 [0]	0 [0]	254 [138]
東員町	4 [2]	383 [208]	179 [136]	150 [115]	14 [10]	0 [0]	0 [0]	730 [471]
菰野町	5 [4]	652 [495]	526 [432]	141 [135]	16 [12]	0 [0]	0 [0]	1340 [1078]
朝日町	0 [0]	55 [55]	216 [210]	50 [47]	0 [0]	0 [0]	0 [0]	321 [312]
川越町	13 [11]	328 [186]	219 [173]	22 [18]	17 [7]	0 [0]	0 [0]	599 [395]
合計	337 [259]	4866 [3119]	3641 [2763]	643 [513]	134 [95]	73 [59]	9 [8]	9703 [6816]

(2)活動報告

ア. インフルエンザPCR実施状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
行政検査		0	5	4	13	0	0	0	0	0	0	0	0	22
サーベイランス	クラスター	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	入院	0	0	0	0	0	0	1	2	1	0	0	0	4
	定点	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	1	3	7
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	3
計		0	5	4	13	1	1	1	3	2	3	1	3	37
(うちインフルエンザ陽性)		(0)	(1)	(1)	(13)	(1)	(1)	(1)	(1)	(2)	(3)	(1)	(3)	(28)
(うち新型インフルエンザ陽性)		(0)	(0)	(1)	(13)	(1)	(1)	(1)	(1)	(2)	(3)	(0)	(0)	(23)

イ. 発熱相談センター(7/8以降インフルエンザ相談窓口)相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談件数	12	716	447	240	121	183	418	358	94	29	6	1	2,625

ウ. 発熱外来受診件数(三重県から発熱外来設置を要請した機関を計上)

医療機関名	設置期間	受診数
桑名市民病院	6/4～7/7	50 [7]
青木記念病院	5/19～7/7	20 [12]
いなべ総合病院	5/19～7/7	5 [1]

[]は発熱相談センター経由を再掲

エ. 健康教育 開催回数: 12回[参加人数:512人]
 (対象内訳) 一般住民 1回 [72人]
 事業所関係 8回 [304人]
 市町等関係機関 3回 [136人]

オ. 関係機関会議

1)桑員地域感染症危機管理ネットワーク会議

月 日	内 容	参加団体	参加人数
平成21年4月30日	発生宣言、発熱外来・入院体制の整備	医師会、薬剤師会、市町、消防、警察	23
平成21年5月7日	現在の取り組みと対策		20
平成21年5月21日	発熱外来の設置に向けて		17
平成21年7月30日	これまでの経過と集団発生報告		18
平成21年10月29日	情報提供・情報共有		14
平成22年2月25日	振り返り・次年度事業計画		16

2)新型インフルエンザ対策連絡会議

月 日	内 容	参加団体	参加人数
平成21年7月3日	三重県の対応方針、住民への周知方法	市町、消防	13
平成21年8月28日	新型インフルエンザサーベイランス体制	市町、市町教育委員会	28

カ. 医療機関発生状況調査

目的

7月10日、新型インフルエンザ集団感染事例を認めたため、本集団感染事例における患者の発生状況、受診状況を調査し、秋冬季に向けた感染予防及び感染拡大時の対策に資する。

対象日：平成21年7月6日(月)から7月18日(土)までの受診状況

対象者

上記調査対象日に受診した患者のうち、迅速診断キットでA陽性者で、A型と診断された患者、及び迅速診断キットでA陽性者と診断された患者の濃厚接触者(家族等)であり、臨床所見からA型が疑われる患者。

方法：郵送により、桑名医師会員・いなべ医師会員へ調査用紙配付。

結果：回答率84.6%(110/130機関)。〔表1〕〔表2〕参照

考察

・23医療機関から152名の報告患者があった。うち重複患者及び調査期間外等を除く135名(15機関)を分析。

調査の結果から、今回の集団感染事例は、F小学校6年生の間で、感染暴露があり、その後、家庭・塾などでの接触により感染伝播したと考えられる。T町内学校施設においては、A型インフルエンザが発生した初期の段階で、学校閉鎖等の対策が講じられており、さらに、学校職員が児童宅に連絡を取り、健康状況の把握を行うとともに感染拡大防止についての注意事項を周知している。2日目以降には6年生での発生は急激に減少しており、土日を含め早期の学校閉鎖の効果が示唆される。

また、患者や濃厚接触者の体調確認や行動の自粛について当時は現在よりも厳密な対策が行われていた。これらの対策の結果、二次感染が小規模に止まり、地域への感染拡大が抑制されたと考えられる。F小学校には、6年生は2クラス存在するが、初発患者が確認された前日、英会話の合同授業が行われている。当日は気温が高く冷房が使用されていた。新型インフルエンザの基本再生産数 $R_0=1.4 \sim 1.6$ (WHO)と言われ麻疹や水痘ほどの感染力はないとされているが、このような条件下で、飛沫が飛散しやすい授業内容であったことが、今回6年生の爆発的な感染暴露の要因とも推察される。

一方、受診状況では、小学校の存在する団地内、若しくは近隣の小児科医に患者が集積していた。今回の報告患者の92.6%が中学生以下であったこと、患者が集中して発生した土曜日に団地内の小児科医が在宅当番であったことなどの要因が考えられた。

このように一定地域での患者の急激な増加に対する医療体制の確保として、地域全体で応援体制の整備、また、インフルエンザ患者集団発生に備えて、迅速診断キットや抗インフルエンザ薬の供給体制を検討しておくことが望まれる。

〔表1〕所属別診断日別インフルエンザ患者発生状況

施設区分 (在籍者数)	7月10日 (金)	7月11日 (土)	7月12日 (日)	7月13日 (月)	7月14日 (火)	7月15日 (水)	7月16日 (木)	7月17日 (金)	7月18日 (土)	総計
T町幼稚園	a (106)									1
	b (97)									
	c (215)									
	d (92)									
	e (119)									
	f (81)									
T町小学校	A (196)			2						2
	B (175)									
	C (410)									
	D (186)									
	E (259)	1	1	3	1	1	1	1	1	6
	F (212)		50	25	11	12	3	2	1	105
T町中学校	Y (367)									
	Z (296)					1	1		2	5
T町外の幼稚園	(85)				1					1
	(23)				1					1
T町外の小学校	(541)					1		2		3
	(418)								1	1
学校以外の所属				2	1			1		4
所属不明				2			1		1	4
総計	1	51	30	17	17	5	6	3	5	135
(%)	0.7%	37.8%	22.2%	12.6%	12.6%	3.7%	4.4%	2.2%	3.7%	100.0%

7月6日から9日に診断された報告患者は認められなかった。

午後から休校・休園
休校・休園
学年閉鎖
夏季休暇

〔表2〕

感染(推定)事例における初発患者以外の家族が発病した日までの経過日数別発病者数

家族内感染 (推定)事例 (人)	発病家族 総数(人)	初発患者以外の家族が発病した日までの経過日数別発病者数(人)							合計
		1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	
1	5			3				1	4
2	4			1	1			1	3
3	3	2							2
4	3	1	1						2
5	3			1		1			2
6	3		2						2
7	2	1							1
8	2	1							1
9	2		1						1
10	2					1			1
11	2		1						1
12	2			1					1
13	2		1						1
14	2			1					1
15	2						1		1
16	2					1			1
合計(人)	41	5	10	4	0	3	1	2	25

家族内感染(推定)患者総数(25人)に対する割合

(注)初発患者が1人でその翌日以降に家族が発病した事例(16家族)を家族内感染と推定し集計した。なお、同日に複数発生し翌日以降に発生しなかった家族(5家族)は除外した。

3 エイズ対策事業

エイズに対する正しい知識の普及啓発を図るとともに、相談及び抗体検査を実施しています。

(1) エイズ対策促進事業

ア 桑名駅前キャンペーン

実施年月日	実施場所	実施者	実施内容
平成21年12月1日 7:40～8:20	桑名駅東口 ロータリー周辺	保健所職員 5名	啓発ティッシュ1,000個配布

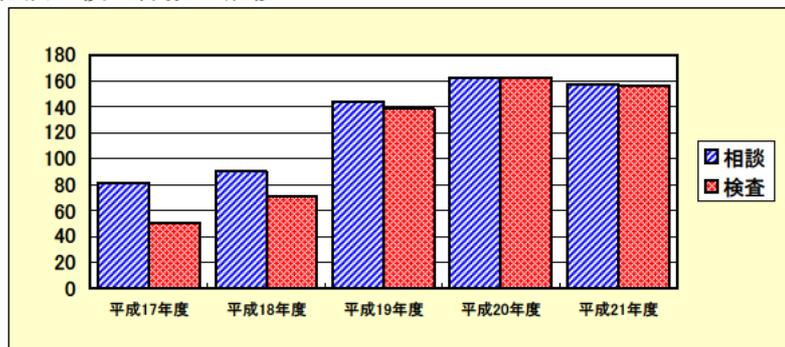
イ エイズ講演会

実施年月日・場所	対象者	参加人数	内容
平成21年10月24日 11:00～12:00 桑名市総合福祉会館	桑員地区の 勤労者	68名	講演 「HIV/AIDSについて」 講師 保健所保健師

(2) HIV抗体検査、電話相談者数

	男	女	計
エイズ相談件数	85	72	157
HIV抗体検査件数	84	72	156

相談・検査件数の推移



(レッドリボン)

(3) エイズ相談・検査実施日時

毎週火曜日 午後1時～午後2時30分

(4) 緊急肝炎ウイルス医療機関委託検査事業

	男	女	計
B型肝炎	8	12	20
C型肝炎	8	12	20

4 予防接種

予防接種法に基づき円滑に予防接種の実施ができるよう、市町、医師会等と連携を図るとともに、予防接種による健康被害に関する救済事務を行っています。

32502 感染症予防および治療体制の充実

(主担当:保健衛生室 健康増進課)

主な取組内容

1. 結核患者の早期発見・早期治療のため、定期及び定期外健診・結核対策等を実施し、まん延の防止を図ります。

1 結核予防事業

平成19年4月からは感染症法2類として結核が位置づけられた。対策としては引き続き、結核が個人的にも社会的にも健康被害を及ぼすことのないよう、結核患者に対する適正な医療を普及し、確実な治療への支援に努めるとともに、地域の実情に応じた結核対策を講じ、結核予防の推進を図った。

(1) 管内結核登録患者の状況

結核患者の登録は結核対策の重要な施策の一つで、活動性分類、受療状況を調査し、患者の管理と生活指導に努めた。

ア 新登録患者数 (活動性分類、性別、年齢階級別)

平成21年1月1日～平成21年12月31日

病型別 年齢区分	計			活動性結核												(別掲) 潜在性 結核感染症		
				肺結核活動性									肺外結核					
				喀痰塗抹陽性			その他結核菌陽性			菌陰性・その他			活動性					
計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	
計	61	39	22	20	17	3	8	6	2	12	6	6	21	10	11	8	6	2
0～4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-
5～9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2
10～14	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-
15～19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20～29	3	1	2	-	-	-	1	1	-	-	-	-	2	-	2	1	1	-
30～39	9	2	7	1	1	-	2	1	1	3	-	3	3	-	3	3	3	-
40～49	2	-	2	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1	-	1	1	1	-
50～59	6	6	-	1	1	-	-	-	-	3	3	-	2	2	-	-	-	-
60～69	7	3	4	4	2	2	-	-	-	3	1	2	-	-	-	-	-	-
70～	33	27	6	14	13	1	5	4	1	2	2	-	12	8	4	-	-	-

イ 年末現在登録者数 (活動性分類、受療状況別)

平成21年12月31日現在

病型別 区分	計			活動性結核						不活動性結核	活動性不明
				肺結核活動性				肺外結核活動性			
				計	喀痰塗抹陽性	その他結核菌陽性	菌陰性・その他	肺外結核活動性			
計	114	26	12	6	8	19	68	1			
入院中	3	3	2	1	-	-	-	-			
外来治療中	42	23	10	5	8	19	-	-			
治療なし	69	-	-	-	-	-	68	1			
不明	-	-	-	-	-	-	-	-			

ウ 市町別結核登録患者の状況

平成21年12月31日現在

病型別 市町別	計	活動性結核					不活動性結核	活動性不明	人口10万対	
		肺結核活動性			肺外結核活動性	活動性結核の有病率				
		喀痰塗抹陽性	その他結核菌陽性	菌陰性・その他		20年			21年	
管内計	114	12	6	8	19	68	1	15.6	15.8	
桑名市	68	5	5	3	10	44	1	18.4	16.3	
いなべ市	13	4	-	1	3	5	-	10.7	17.1	
木曽岬町	1	-	-	-	-	1	-	14.9	-	
東員町	13	2	-	-	5	6	-	19.5	27.4	
菰野町	11	1	-	3	1	6	-	7.5	12.5	
朝日町	2	-	1	-	-	1	-	22.8	10.7	
川越町	6	-	-	1	-	5	-	14.7	7.2	

エ 市町別結核新登録患者の状況

平成21年1月1日～平成21年12月31日

病型別 市町別	計	活動性結核					罹患率	(別掲)潜在性結核感染症
		肺結核活動性				肺外結核活動性		
		計	喀痰塗抹陽性	その他結核菌陽性	菌陰性・その他			
管内計	61	40	20	8	12	21	21.5	8
桑名市	34	22	11	7	4	12	24.1	6
いなべ市	10	6	5	-	1	4	21.4	-
木曽岬町	-	-	-	-	-	-	-	-
東員町	9	5	3	-	2	4	35.3	2
菰野町	6	5	1	-	4	1	15.0	-
朝日町	1	1	-	1	-	-	10.7	-
川越町	1	1	-	-	1	-	7.2	-

(2) 結核検診実施状況

平成21年度

項目 対象別	予防接種				胸部エックス線撮影		喀痰検査者数	QFT検査	結核患者発見者数	
	対象者数	ツ反応検査者数	陽性者数	BCG接種者数	対象者数	受診者数				
定期	計	2,641	-	-	2,506	73,135	23,375	8	-	3
	事業者	-	-	-	-	7,551	7,524	-	-	1
	学校長	-	-	-	-	2,218	2,217	-	-	-
	施設の長	-	-	-	-	1,042	1,003	3	-	-
	市町長	2,641	-	-	2,506	62,324	12,631	5	-	2
定期外	計	/	3	-	-	/	176	-	104	-
	接触者	/	1	-	-	/	74	-	83	-
	患者家族	/	2	-	-	/	96	-	21	-
	患者管理	/	-	-	-	/	6	-	-	-

(3) 市町別一般住民結核健康診断実施状況

平成21年度

市町別	住民健 診対象 者数 (A)	BCG対 象者数 (B)	BCG接 種人員 (C)	(C)/(B) %	胸部エックス線撮影			(D)/(A) %	結核 患者 発見 数 (G)	(G)/(D) %
					受診人員					
					間接撮影数	直接撮影数	計(D)			
計	62,324	2,641	2,506	94.9%	11,202	1,429	12,631	20.3%	2	0.02%
桑名市	29,729	1,261	1,208	95.8%	4,598	456	5,054	17.0%	-	-
いなべ市	10,431	438	409	93.4%	2,508	-	2,508	24.0%	-	-
木曽岬町	1,904	42	41	97.6%	458	357	815	42.8%	-	-
東員町	5,149	210	210	100.0%	1,671	-	1,671	32.5%	-	-
菰野町	9,114	341	318	93.3%	1,443	-	1,443	15.8%	2	0.14%
朝日町	3,219	169	142	84.0%	442	-	442	13.7%	-	-
川越町	2,778	180	178	98.9%	82	616	698	25.1%	-	-

(4) 感染症診査協議会における結核医療診査状況

ア 感染症法第37条申請診査件数 平成21年度

申請別	計	新規申請	継続申請	解除申請
申請件数	48	19	29	22
承認件数	48	19	29	22

イ 感染症法第37条の2申請診査件数(継続申請除く)

平成21年度

区分	計	被用者保険		国保	後高	生保	その他
		本人	家族				
申請件数	77	16	8	18	33	2	-
承認件数	77	16	8	18	33	2	-

(5) 感染症診査協議会委員名簿(順不同)

平成22年4月1日現在

氏名	役職名
北川 良子	桑名市民病院 内科
笠井 寛司	笠井内科 院長
埜村 智之	いなべ総合病院 副院長
郡 なな子	桑名人権擁護委員協議会(人権擁護委員)
山口 順	三重県社会保険労務士会(社会保険労務士)

(6) 結核健康相談開催

接触者健診及び管理検診

毎月第1、3週の木曜日 午後2時30分から午後3時 受付

(7) 結核対策特別促進事業

ア 目的

居宅サービス事業所の中で、訪問介護と通所介護を実施している事業所の管理者を対象にアンケート調査を実施することにより、結核についてどのように認識され、どの程度知識を持っているかの確認を行う。そのうえで居宅サービスを実施する事業所の方に結核について正しい知識を持ち、服薬の重要性、継続治療の必要性について理解していただくことを目的とする。

イ 事業内容

- 1) 「通所介護及び訪問介護を実施する事業所管理者に対する結核に関するアンケート調査」

管内の通所介護（93ヶ所）及び訪問介護（38ヶ所）サービスを実施している事業所に対しアンケート用紙を郵送し、通所介護56事業所、訪問介護25事業所より回答を得た。

ウ 「結核患者服薬支援（DOTS）」

- 1) 医療機関とのDOTSカンファレンス

【四日市社会保険病院】 12回

検討実人数	18名（延べ33名）
地域DOTS報告人数	22名（延べ99名）
地域DOTS終了報告人数	15名

【三重中央医療センター】 1回

検討実人数	2名（延べ2名）
-------	----------

- 2) 訪問及び面接DOTS支援 対象者 : 4名（延べ33回）
- 3) 連絡確認DOTS支援 対象者 : 23名（延べ101回）

エ 成果

事業所の管理者の多くは、保健所が結核対策を行っていることを知っており、研修やインターネット等を通じて結核について学習はしているが、支援を行った事業所のうち、サービス開始にあたっては職員への感染を心配していた。また、服薬支援者として役割が期待されるDOTSについては、ほとんど普及していない実態がわかった。

このことから、結核について学んではいるが、今後も感染予防を含め、正確な情報と知識についても啓発していくこと、また、DOTS支援において介護職員に期待する部分は大きく、今後さらに普及啓発を行っていく必要がある。

DOTS支援については、入院時から本人に面接を行うことで信頼関係を築くことができ、また、定期的にDOTSカンファレンスを開催することにより、医療機関と保健所間の連携強化が図られた。

オ 今後の課題と22年度の計画

- 1) 平成21年度にアンケート調査を実施した居宅サービス事業所管理者及び職員に対して研修会等を行うことにより、結核対策の強化を図る。
- 2) 医療機関と地域との連携のもと、DOTSを推進し服薬支援体制を整備する。